

黒潮圏科学国際ワークショップ： 地域社会における沿岸域総合管理研究

- 日 時 2019年2月19日(火) 13:30～16:25
- 場 所 高知大学朝倉キャンパス人文学部棟5F第1会議室
- 問合先 黒潮圏総合科学専攻 新保輝幸 ☎ 088-844-8251

フィリピン農業省漁業・水産資源局(BFAR R02)の研究者を交え、フィリピンで進められてきた海洋保護区(MPA)や統合的沿岸管理(ICRM)の経験と、我が国の沿岸環境管理の取組を互いに紹介し、地域社会における沿岸域の管理のあり方について議論する。(使用言語は英語です)

- ・**基調講演:ネルソン・B・ビエン(BFAR R02・所長)「フィリピン・カガヤン・バレー州の沿岸資源管理プログラム」**
- ・**エブリン・C・アメ(BFAR R02)「絶滅が危惧されるルドン(Cestreaus spp.)を救おう:フィリピン・カガヤン・バレー州における魚類保全を目指した省庁間ネットワークの協働」**
- ・**エマ・L・バラッド(BFAR R02)「フィリピン・カガヤン州における資源保全と地域発展のための海洋保護区の研究」**
- ・**現場からの特別講演:岩瀬文人(四国海と生き物研究室)「土佐清水市竜串における豪雨災害からのサンゴ群集再生事業と地域コミュニティによる持続的な保全体制構築の取り組み」**
- ・**斎藤知己(高知大学 海洋生物教育研究施設)「高知県におけるアカウミガメの産卵海岸および雌の産卵と幼体の脱出に影響を与える環境要因」**

主催:高知大学黒潮圏総合科学専攻・黒潮圏科学部門

DCセミナー指定(博士)(文系)・黒潮圏セミナー指定(修士)(文系)